

定例教育委員会会議録

平成30年10月26日

境港市定例教育委員会（平成30年10月26日委員会会議録）

招集年月日 平成30年10月26日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 松本 敏浩
委 員（職務代理者）酒井 伊津子
委 員 徳永 由樹 十河 淳 中田 耕治

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 影 本 純

教育総務課長 木 村 晋 一

教育総務課長補佐兼

指導係長 高 濱 禎 彦

教育総務課長補佐兼

学校給食センター所長 松 本 昭 児

生涯学習課長 黒 崎 享

生涯学習課長補佐兼

生涯学習係長 濱 田 潤

生涯学習課長補佐 北 野 瑞 拓

教育総務課管理係長 荒 岡 真 樹

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課管理係長 荒 岡 真 樹

提出議案 なし

協議事項 9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について
境港市立学校業務カイゼン計画について

報告事項 10月の行事報告、11月の行事予定など

【1. 開会】

松本教育長

それでは、ただいまから10月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

松本教育長

本日議案はございません。協議事項に入ります。

【3. 協議事項】

松本教育長

9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について質問・意見をお願いします。今回の議会で私の印象に残ったのは、猛暑に対する学校の環境整備ということでたくさんの質問をいただきました。体育館の冷房化についての話もありました。PTAからも同様の要望がありました。体育館を冷房化するとすると、相当な財源が必要になりまして、また、全国的に体育館まで冷房化している学校は多くないので、現在は冷房化できるような状況ではありません。ただその中で、境港市としてできることは何か。一つには、大型扇風機を体育館に設置することが非常に効果的であるという話を聞いています。実際に、市民体育館に大型扇風機を導入した効果がありまして、利用者から好評を得ています。中学校にはすでに大型扇風機があり、活用して熱中症対策をしています。小学校にも、整備が必要かと考えています。ご意見がございませんか。（意見なし）さまざまな機会で見聞交換ができますのでお聞かせください。続いて、境港市学校業務カイゼン計画について事務局から説明をお願いします。

影本事務局長

境港市立学校業務カイゼン計画案について説明します。業務改善の改善がカタカナになっていますが、これは県教育委員会が学校の業務改善の改善運動についてはカタカナのカイゼンを数年使っていて、それに合わせてカタカナで表記しています。業務改善計画を策定するにあたりまして、趣旨に記載してありますが、教職員の勤務時間外業務が常態化しているということは全国的な話題になっていますが、それを受けて、文部科学省が平成29年に新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について中央教育審議会に諮問を行いまして、それについて平成29年12月22日にその方策について中間

まとめが示されました。そこに教育委員会が業務カイゼンの方針や計画を策定するように示されています。つまり、国が示していく方針について各地教委もこれを支援するようという趣旨です。これを受けて、境港市の学校でも業務カイゼンを進めていくための計画を策定したものです。つぎに、市内の学校の勤務時間外業務時間を示しています。平成28年、平成29年に県教委が9月の教職員の時間外勤務を調査したものです。この2年間は小学校ではおおむね月46時間、中学校ではおおむね65時間の時間外の勤務があるのが実態でした。時間数別で見ると中学校の教職員は時間外勤務が多いのが実態です。ちなみに、今年度もこの調査を実施していきまして、まだ全部のデータはそろっていませんが、今年度は減少傾向で、各小学校、中学校ともに10時間程度は短くなっているという改善に向かった結果が出ています。こういった実態を受けまして、勤務時間外業務の改善の具体的取組として長時間勤務の解消、業務改善と環境整備に向けた取り組み、健康管理体制の充実、より適正な部活動のあり方という形で、市教委が行う取組と学校で取り組む内容について記載しています。また、鳥取県教育委員会も「学校業務カイゼンプラン」というものを示していますので、それとも連携をしながら、市も推進していきます。最終的には、業務カイゼンの評価について各学校で年度末の評価の報告に業務カイゼン評価もしっかりと行うということを盛り込んで、どのように進んだかということをして市教委や学校で見直ししながら業務カイゼンを進めていくという流れにしたいと思っています。委員会で意見をいただいて調整をしまして、各校にカイゼン計画として配布したいと考えています。年次的にこの計画も改訂してさらに必要なもの付け加えながらバージョンアップをしていくというように進めたいと考えています。以上です。

松本教育長

ただいま説明がありました境港市立学校業務カイゼン計画案について質問・意見がありましたらお願いします。

十河委員

平成29年9月にデータがとられていますが9月に設定されているのは何か理由がありますか。年度末や年度始め業務時間と差があると思いますがどのような感じでしょうか。

影本事務局長

県教委が行っている調査ですが、一つとして、9月は、学校

行事が多い時期であるということで、ほかの行事がない時期よりも割と忙しい時期であるということで、そういう時期の時間外勤務がどれくらいあるかというのは指標になるということがあります。それと、市教委としては、今年度からは全教職員の時間外勤務のデータを収集していて、各月別で時間外勤務を把握していますので、各月ごとの数値を今年度一年間見ていくとより正確にわかると思います。昨年度までは、時間外勤務が多い先生だけの報告をいただいていたのですが、勤怠管理システムが導入されたので、一括でデータが出るようになっています。それをもとに市教委も勤務管理等を見ていきたいと考えています。

松本教育長

よろしいですか。そのほかありませんか。

中田委員

教職員の多忙解消ということではありますが、こういったカイゼンということで、市教委としてはハード面での提案をして、学校では実施していくということで、そこですり合わせるものがいろいろと出てくると思います。そういった時間をたくさん取らないとこういったことはうまくいかないと思いますが、そういった部分が逆に負担になってくる心配はないかということも思います。

影本事務局長

特にこの業務時間外のカイゼンにつきましては学校と協議をすることは必要ですので、主には校長会を通じて、状況の説明や市教委が実施しようとしているカイゼンについて話をし、それについて意見を聞きながら調整を進めていくという流れをとっています。今後も学校の実態等を把握しないといけないので、学校からの意見をもらいながらハード整備、環境整備に努めていかなければいけないと思っています。いろいろなことで最初は時間がかかることがあります、例えば学校業務支援システムを業務負担軽減のために導入しましたが、最初はやはり使いこなせなくて手間をとることもありました、慣れてくると有効に使ってもらえている状況です。何かを導入するときには時間がかかることもありますがトータルでは、最終的には有益に使ってもらえているようになって感じています。

松本教育長

よろしいですか。そのほか意見がありませんか。

酒井委員

具体的取組の中で学校で取り組む内容の中に「学校が作成する計画等について、計画の機能性を高めながら整理・合理化を図る。」とありますがわかりにくいと思います。学校が作成する計画等ということになるとたくさんありますが、機能性を高めながら整理・合理化を図るということはどうすればいいのかわからないと思います。ほかの取組みは具体的に書いてありますが、ここに関してはどう受け取るか難しいと思います。

影本事務局長

酒井委員がご承知のとおり学校ではたくさんの計画を作成します。これについては、教育計画、年間指導計画などを作りますが、類似のものは一つの表にまとめて整合性をとるというような、もう少し計画のフォーマットを工夫して、なるべくたくさんの計画を作成しなくていいような工夫をしていくことをイメージしています。わかりにくさはもう少し丁寧に、文言を変えたいと思います。

酒井委員

市教委が行う取組の中に書かれているような「教育委員会主催の行事・研修等の精選及び合理化を図る。」ということのかなと思います。機能性を高めながらという言葉に引っかかります。整理・合理化を図るというのはよくわかりますが、機能性を高めながらという点に関しては学校からすると難しいような印象を受けたので、ご検討をお願いします。

影本局長

表現をかみ砕くようにします。

松本教育長

要するに計画の整理・合理化を進めるということですね。整理・合理化を進める内容を例示するとか、読んだときに指示する内容がイメージできるような表現に変えていただきたいと思います。

酒井委員

ここが一番大切なところだと思いますので、丁寧に説明していただきたいと思います。

松本教育長

無駄を省くといった部分ですね。そのほかありませんか。

中田委員 学校業務支援システムというのは教職員の皆さんが使える状況でしょうか。

影本事務局長 この学校業務支援システムは、子どもの学習、生徒の情報を一括管理するシステムで、例えば、パソコンに出席簿を入力すると成績表や指導要録に反映されるというように、今までは手書きにしたものを一つ一つ転記していたことが一括で管理できる、健康診断の結果などを入力すると個票が出来上がって、健康診断の個別の結果も出来上がる、あるいは、学校間のデータのやり取りもグループウェア機能でできます。これは全市町村で共同調達をして、県内の市町村の小中学校はすべてこのシステムが導入されています。コストを下げするために一括して導入しました。全国的には珍しい、全県的な取組ということで注目されています。市が、導入コストやランニングコストを出していますが、一括導入ということでコストを下げることができました。これを活用することにより大きな業務カイゼンができました。

松本教育長 よろしいでしょうか。すべての県内すべての市町村の小中学校に導入されているので、他の市町村から境港市に転勤してきてもすぐにシステムを使用することができるし、境港市から他の市町村に転勤してもすぐに使用することができ便利です。この計画がカイゼンの指針になりますので、お気づきの点がありましたらぜひご意見をお願いします。

中田委員 健康管理体制の充実で「教職員のメンタルヘルス対策を推進する。」という項目がありますが、メンタルヘルスに関して、学校側の取り組みとして「管理職は、勤務時間外業務の多い教職員に対し、面談を行う。」となっています。これは教職員の皆さんがお互いに面談しあうという状況になると思いますが、専門家が入るとかしないと、逆にストレスになる心配がないのかと感じます。専門家が入って面談したほうが、より効率的ではないかと思えます。

影本事務局長 管理職は勤務職員を管理するという役目がありますので、まず、勤務時間外業務の多い職員を面談し、どうしたらカイゼン

松本教育長 特にどの分掌の時間外勤務が多いのかということが、これからはわかるようになるのですね。

影本事務局長 わかります。

松本教育長 傾向をつかんでいくということも必要かもしれませんね。

影本事務局長 小学校では体育関係の分掌を担当している人が多い傾向です。中学校では生徒会、部活動関係を担当している人が多い傾向です。あと、小中学校ともに研究主任をもっている人、教務主任を担当している人がいろいろな計画立案などの事務処理で多くなる傾向です。そういった状況は把握しているので、学校の中でなるべく平準化するように担当者を2名つけるとかの工夫をしてカイゼンをしていただいています。

松本教育長 よろしいでしょうか。

十河委員 先生方はわかっているとは思いますが、仕事をするうえで、意識的にここからが時間外業務だからもっと効率よくしようとか、これは今日すべき業務なのかという精査をする必要があると思います。学校の前を通ると遅くまで電気がついていて先生方が遅くまで仕事をされているなあいつも思います。本当にそれが今日しないといけない業務なのか、本来やらなくてもいいことをよりよくしようとしてやっていることだったりするのかなと思うこともあります。長時間にわたって仕事をする、子どもたちには早寝早起きをするように言いながら、教える側の先生方が遅くまで仕事して朝早くから出勤するといった、ちょっと病んでしまいそうな状況にあると思います。それぞれの先生の仕事の精査をすることもこの中に網羅してもらえたらいいと思いますがいかがでしょうか。

影本事務局長 9月の時間外勤務が減ってきたのは、先生方にも働き方改革という意識がだいぶ浸透してきているというのは感じます。先生方自身も時間の使い方や、仕事の手順などをよくよく考えて、仕事をするようになってきたのではないかと考えています。校長会でも、いわゆるタイムマネジメント、有効な時間の使い方を意識していきましょうという話をしています。委員が言わ

れたように子どもと向き合う時間をしっかり作っていくことが業務カイゼンの大事なことであるので、そのあたりを文章の中に落とし込む必要があると感じました。先生が疲弊しては、より効果の高い学習や学習環境にならないというところをカイゼンしていくことを記載する必要もあるかと感じました。貴重な意見ありがとうございます。

松本教育長

そのほかありますか。

中田委員

勤務時間外業務の改善の具体的取組で「市教委が行う取組」と「学校で取り組む内容」に分かれています。 「市教委が行う取組」に対しての「学校で取り組む内容」というように相対するように書いたほうがわかりやすく具体的に受け入れられるのではないかと思います。今の表記の仕方では市教委と学校がそれぞれ個別に取り組むような感じがします。関連性を持たせた表記ができませんでしょうか。

影本事務局長

作成する際に意識をしていましたが、必ず一致するという部分がないものがあるので、少し書き方には苦慮しました。再度、整理してわかりやすくしたいと思います。

松本教育長

なるべく可能であればそういったことを意識しての構成をお願いします。そのほかありますか。

十河委員

9月の勤務時間外業務は平均と書いてありますが、最大時間はどのくらいでしょうか。

影本事務局長

平成29年の調査で小学校で一番多かった人は89時間、中学校だと140時間という人がいました。

松本教育長

140時間というのは相当厳しい時間数ですね。

十河委員

徹夜をしているような状況でしょうか。

中田委員

この時間数を平準化することができるのでしょうか。

影本事務局長

個別の教職員の課題があります。時間外勤務が多いという人

は業務上の課題があったりします。そういった場合は校長に面談して確認するように話しています。私も経験がありますが、毎日午後10時、11時まで残業すると150時間ぐらいになりますので、徹夜というほどではありません。

中田委員

やはりそういった方は、仕事を終えて家に帰っても仕事のことを考えていて、実際には仕事から離れられないのではないのでしょうか。

影本事務局長

そういうことに慣れてしまい、当たり前のような生活になっている人がいるということはよくないと考えています。教職員にも家庭がありますので、一家庭人としての役割も大事だと思います。

松本教育長

こういった方針を定める中で教員の意識改革をしていくことは重要なポイントだと思います。どうしても教員は時間外手当がありませんので、自分の思いだけで時間外の勤務をしてしまいます。ただ、一般企業もそうですし市役所もそうなんですが、時間外手当が発生するという事になれば、そのところは意識をして、時間の有効な使い方は自然と定着してくると思います。教員はややルーズな部分があります。そのほかありませんか。

十河委員

以前、学校に校務支援員を配置していくということがあったと思いますが、この中にはそれは織り込んではいかないのですか。

影本事務局長

現在は、教員業務サポーターを国県の事業で1名を中学校に配置しています。モデル的な配置になっています。これを国が拡充しようとしていまして、主体は国県となっています。これが国の予算がどこまでついて、広がっていくのかといのは不明確な部分があるので、もしこれが一部補助というような事業に変わってきたら、市として補助金を使いながら配置を増やしていくということは盛り込もうと思っています。今のところは国が施策として入れてくれているので、注視しながら改訂していけたらと思います。

松本教育長

学校には学級数により、何人の教員を配置するという定数が決まっております。いろいろな都道府県があって、いろんな加配をつけながら定数にプラスをする配置をしています。鳥取県は、上回る部分では日本で一番です。日本で教員が一番充当されている県です。そういった部分ではかなり恵まれてはいます。それだけにもう少し効率化を図る必要があると思います。

中田委員

鳥取県が一番多いという話がありましたが、現場としてそれで足りているという実感があるのでしょうか。

影本事務局長

率直に言えば足りていないと感じていると思います。この業務カイゼンの根本となるのは教員が増えることということになります。ただ教育長が申しあげたように、決まった数でしか配置がないので、そうであればその中でできることはなにかというのがカイゼン事項になります。ですので、議会でもでしたが、義務教育の国庫負担が3分の1まで下げられた、これを復活してほしい、というのが教員の定数改善を進める、今は基本は40人学級ですが、これを35人にしていくとか、そういう訴えはしていく必要があると思いますがなかなか厳しい状況ではあります。

松本教育長

中学校は教科担任制ですが、小学校は学級担任制です。ここに大きな差が出てきています。小学校は先生がみんな学級に出ていきますので、出張があつたり、病気で休んだりしても代替えがない状況です。教頭先生も教務主任もみんな授業に出払っている状況です。中学校に行くと教科担任制ですので職員室に毎時間、どなたか先生がいますので、緊急なことが起こっても対応がしやすいといった差があります。ほかになにかありますか。（意見なし）いろいろな角度からご意見をいただきました。今いただいた意見をもとに修正をしまして、学校に提案したいと思っています。ありがとうございました。つづいて報告事項に入ります。

【4・報告事項】

《教育総務課、生涯学習課 行事等報告》

松本教育長 ただいまの行事報告等で質問がございますか。

十河委員 給食で、先日クロアチア料理が提供されたということですが、子どもたちの反応はいかがでしたでしょうか。

松本課長補佐 先日、給食主任が集まった給食委員会の時に話がありましたが、少し厳しい反応でした。臭みがあったようで子どもには食べにくいようでした。私が食べた感じはロシア料理の時よりはおいしいと思いました。なかなか難しいですが、調理師、栄養士は再度挑戦してみたいとのことでした。

黒崎課長 10月22日に第二中学校でクロアチアのヨットチームと交流した際には日本食でもてなしました。

十河委員 子どもたちに世界を知ってもらおうということで、大変すばらしい企画だったと思います。いろいろな国の料理をぜひお願いしたい。

中田委員 第一印象が大事だと思いますので、日本風アレンジしたものから入って、興味を引くということも大事なのかもしれませんね。

松本教育長 クロアチアの人に日本の子どもに母国のどんな料理を紹介したらいいか聞いてみたらどうでしょうか。いろいろ試してもらいたいと思います。そのほかありませんか。

十河委員 来年ヨットの世界選手権がありますが、以前、古い自転車を募集していたと思いますが、その後はどのような状況でしょうか。

黒崎課長 市報で募集しましたが、問い合わせ等はありません。唐津市を視察した際に、選手のほとんどが自転車で移動しているようでした。今は、バスをチャーターしてホテルから会場まで移動できるようにするのが現実的かと考えています。

松本教育長 そのほかありませんか。

中田委員 図書館の利用者が減ってきているということでしたが、図書館のホームページがわかりにくい感じがしました。毎月新刊が入ってきていますが、もう少し紹介の仕方とか、うまくできないかなと思いました。本を読むことは大事なことです。本の表紙の画像を出すなど工夫をして利用者が増えたらいいと思います。

黒崎課長 図書館長や県立図書館の課長とも相談しながら、ホームページも工夫して、よりたくさんの人に来ていただけるように考えてみます。

松本教育長 公共図書館がどういう風に利用されているのかを診断する一つの数値に人口一人当たり、一年間に何冊本を借りているのかという統計が毎年、図書館協議会から出されます。その数値は境港市はずっと鳥取県の中で下から二番目でした。今は最下位になっているかもしれません。境港市民は一人が1年間に3.2冊を図書館から借りています。ちなみに一番は、三朝町で14冊、二番が日吉津村でそれに近い数、どこの図書館でも10冊を超えると市民に利用されているという評価をします。こんど交流センターにできる図書館はそういったものを目指したいと思っています。米子市でも6冊ぐらいだったと思います。そのほかありませんか。

中田委員 小学校や中学校の図書館に行くと図書カードに記載が増えて2枚になったりしますが、境港市の図書館はどうでしょうか。

濱田課長補佐 記入式のカードではありません。

影本事務局長 学校の図書館もバーコードになっていて記入式ではありません。

松本教育長 ぜひ教育委員の皆さんも図書カードを作ってください。

中田委員 本を何冊か借りたらカードの色が変わるとかするといいかもしれません。子どもの頃、学校の図書館で本をたくさん借りるとカードの枚数が増えて、自慢することができました。カード

一枚で借りられるというのは合理的ですが、ポイントがあつてランクが上がって色が変わるといったことで刺激を持たせるのも一つの工夫ではないでしょうか。

松本教育長

それは面白い考えだと思います。そのほかありませんか。（意見なし） つづいて余子小学校及び誠道小学校統合準備委員会だよりについて報告をお願いします。

影本事務局長

余子小学校及び誠道小学校統合準備委員会だよりをお配りしています。9月21日に第1回の統合準備委員会を開催しました。今後、統合準備委員会が開催された後に、決まったことや今後の予定について広報していくものとして、余子小学校及び誠道小学校の保護者に配布し、両公民館にも掲示していただいています。第1回目で、委員長に学識経験者の岡崎茂さん、島根大学特任教授、副委員長に余子公民館の阿部館長と誠道公民館の古徳館長が互選されて選ばれました。統合準備委員会の組織や各部会が取り決めることについて説明しました。統合準備委員会の今後計画等についても説明をしました。最後に意見交換をしまして、一番話題になったのは、統合する学校の名前をどうするかということでした。誠道小学校が余子小学校から分離して戻るといふとらえ方をするのか、それとも新しい学校を作っていくという考え方になるかによって名前のあり方が違うのではないかというようなさまざまな意見が出ていました。10月31日の第2回はそのあたりを中心的に議論をして、小学校の名称、どういう形の統合をするのかということを中心にしたいと思います。ここが定まれば、それにかかわる校歌や校章が定まってくると思います。今後も広報で地域の方にお知らせしていきます。

松本教育長

何か質問がありますか。（質問なし）今日の議題はすべて終わりましたが委員からなにかありますか。

酒井委員

新聞に文科省と県教委の問題行動調査結果が出ていて、さらに増えてきたということですが、境港市の現状はいかがでしょうか。

影本事務局長

詳細な数値は手元にありませんが、いじめについての報告は

もらっているので、以前より認知は高まっていると感じています。昨年度も市のいじめ防止の指針も出しましたし、各学校もそれに合わせて、いじめ防止の基本方針の改定をしていますので、些細なものでもいじめと認知して対応するという意識が高まっています。現在、大体の学校でいじめの認知を確認しています。

松本教育長

すべての学校でいじめを認知してもらっているので、放置をすれば深刻ないじめ問題に発展する、それを早い段階で認知するというのがこれの大きな目的だと思います。そういった部分で境港市の認知件数が上がっているということは、非常に細かい目で子どもたちの様子を見てもらっていると感じます。鳥取県内の他の市町村と比べても境港市の認知件数の増加率は、多いと思っています。ただその中で、重大事案、最大の重大事案は自殺というような問題がありますが、そうでなくてもいじめをきっかけとして長期間学校に来れない、不登校になる、これも重大事案です。市内では2件報告をしています。鳥取県全体では5件でした。今は解決はしています。

酒井委員

認知件数が増えたのはいいのですが、改善されたかどうかはわからないので、そのあたりが気になりました。

松本教育長

結局、重大事案が減っていないという部分は、境港市もそういったことになるかもしれませんし、引き続いて早期の対応をしていかなければならないと思っています。やや放置されるというか、学校は様子を見るという期間を設けてしまい、その間に本人のダメージが大きくなったり、保護者の不安が大きくなって、苦情がくるというようなケースが出てきます。早い段階から対応していく、保護者と連携をとる、子どもの気持ちをカウンセリングするというようなことをしっかりやらないといけないと思いますし、担任任せになってしまうので、特に小学校はそういう傾向が出てくるのではないかと思うのですが、やはり複数の教員で組織的に対応するというのを徹底しないと深刻な問題に発展すると思います。

中田委員

先ほど市内で2件解決しているということでしたが、小学校、中学校の年度の間に解決したということでしょうか。

影本事務局長

今回公表されているのは、平成29年度の結果を報告していますので、昨年度の途中に起こって、解決に向けて学校が対応して、年度中に改善したという事例です。今年度に継続している事案ではありません。

松本教育長

そのほか質問等ありませんか。（質問等なし）

【5. 閉会】

松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会いたします。ありがとうございました。